
令和6年度 第2回 筑前町地域公共交通会議

議事概要

(1) 開催概要

日時 : 令和7年1月28日(火) 14:00 ~ 15:00

場所 : コスモスプラザ 2F 1,2,3 会議室

欠席委員 : 江口委員、田村委員、後藤委員、前田委員

(2) 協議事項

1) オンデマンドバス(予約型バス)乗降所について

① 新規乗降所

(事務局) 資料1をもとに新規乗降所の追加について説明した。

(事務局) 町民から新規乗降所の要望が多くあった、「西部営農センター」「大刀洗平和記念館」「掩体壕」に新設の乗降所を設置する。

② 乗降所名称変更

(事務局) 山隈区の公民館の移転に伴い、移転先の敷地内にある「山隈(旧寿団地跡)」の、名称を「新山隈公民館前」に変更する。旧山隈公民館については、取り壊しが予定されているため、「山隈公民館」から「山隈小路組」へ名称を変更する。これらは令和7年4月1日より運用予定である。また、新設の乗降所はすべて敷地内の設置となり、警察等との調整は必要ない。

(会 長) 新設・名称変更の乗降所に関しての周知方法について考えはあるか。

(事務局) 町のホームページに掲載すると共に、チョイソコちくちゃん会員の皆様には通知の文章を発出する。併せて町の公式ライン等にて周知する。

(会 長) 事務局の提案内容で進めてよろしいか。

— 異議なし —

2) 「公共交通マップ」・「高校通学ガイド」について

- (事務局) 別冊 1、2、資料 2 をもとに公共交通マップ、高校通学ガイド、中学校調査について説明した。
- (上野委員) 甘木鉄道の乗り方について、「前扉より整理券と運賃または乗車券を運賃箱に入れて降車します」と記載を修正していただきたい。
- (事務局) 承知した。修正する。
- (会 長) 今後のマップの更新頻度について教えていただきたい。
- (事務局) 公共交通マップは、現行の公共交通計画の策定期間(5年間)の間は、大きな変更がなければ継続した内容とする見込みである。高校通学ガイドについては、学年によって進学先が変わることや、引き続き行う中学校アンケート調査の結果を踏まえ、毎年見直しを行っていきたい。
- (会 長) マップの修正意見はいつまで対応可能か。
- (事務局) 修正等のご意見がある場合は、2/14(金)までに事務局へご連絡いただきたい。
- (矢野委員) 高校通学ガイドの「先輩たちに聞いてみました!」欄について、具体的な高校名を記載しなくてもよいのではないか。
- (事務局) 経緯としては、昨年度卒業した中学校 3 年生に対しても、公共交通に関する調査を実施しており、高校進学後の追跡調査に了承をいただいた 10 名の生徒について、通学方法等に関する調査を今年度実施した。最終的には 6 名から回答いただいております、そのままの文言をマップに記載している。具体的な高校名を載せるかについては教育委員会と相談し掲載可否を決める。
- (矢野委員) 承知した。
- (池野委員) 公共交通マップに記載のあるチョイソコちくちゃんについて、祝日は運行しているのか。
- (事務局) 祝日も運行している。祝日の運行についてもマップに追記する。
- (上野委員) 高校通学ガイドについて、「久留米工業高等専門学校」に記載を修正いただきたい。
- (事務局) 承知した。
- (会 長) 事務局の提案内容で進めてよろしいか。

—異議なし—

3) 西日本鉄道株式会社様からの申し入れについて

(事務局) 昨年、西鉄バス二日市様より、福岡県バス対策協議会宛に路線廃止の申し入れがあったため、筑前町地域公共交通会議にてその対応を検討し、福岡県交通政策課に報告する必要がある。今回廃止を予定している上西山線は、路線の多くが筑紫野市に位置している。筑紫野市が代替手段の検討を行うにあたって、廃止時期について引き続き協議を行う予定であり、会議等での説明時期については筑前町と整合をとりたい旨、筑紫野市より申し入れがあったため、本日まで提案を控えていた。現在の状況を筑紫野市に確認したところ、未だ協議中であり結論は出ていない状況であるが、委員の皆様の意見をお伺いしたい。

(池田委員) 上西山線廃止の申し出について、資料 3 をもとに説明した。

(池田委員) 当初令和 7 年 4 月 1 日の廃止を予定していたが、現在も筑紫野市と協議中で、路線廃止は延期する予定である。路線廃止の要因としてはバスの乗務員不足である。現時点でも乗務員が 100 名弱不足している状況であるが、高齢化等により数年後には更に不足する見込みである。これに対し採用の強化（採用エリア拡大）や待遇改善等を実施してきたが、必要な人数の採用には至っていない状況である。上西山線は、朝の通勤・通学目的で利用されているが、それ以降の時間帯や土日については、便全体を通して利用者数が一桁台となっている。大型二種免許の運転士に限られる中で、可能な限り利用者数の多い路線に運転士を割り当てる必要があるため、このような申し出を行った。

(町 長) 西鉄バス様として、今後筑紫野市以外の他の路線についても廃止を検討するのか。

(池田委員) 既に他の自治体でも協議を進めている地域もあり、今後も検討していく予定である。

(副町長) 筑紫野市の検討状況について教えていただきたい。

(池田委員) 現在協議中であり、具体的な内容は確定していないため、この場での発言は差し控える。

(山浦委員) 西鉄バスに限らず、路線廃止は全国的に実施されている。国に届出を出している事業者については期間を定めて運輸局のホームページに掲載しており、そちらを確認していただきたい。福岡県に協議状況を報告する必要があると思うが、本会議での議決の方向性としては、路線廃止の延期に同意するという形となるのか。

(二宮委員) 上西山線の廃止について、当初の廃止予定日は令和 7 年 4 月 1 日に予定されていたため、その 2 か月前である 2 月までに筑紫野市、筑前町としての意向を福岡県に報告するという流れを考えていた。今回西鉄バス様が廃止の時期を延期するということであるため、福岡県としてはバス対策協議会ブロック別協議会での結論を出す時期も先延ばしとなり、引き続き協議・検討を行う予定である。従って本会議の中で結論を出す必要はない。

-
- (町 長) 筑前町公共交通会議として町の意向を報告する必要があるのか。
- (池田委員) 福岡県バス対策協議会の要領に記載があるが、ブロック別協議会で協議した内容を各市町の地域公共交通会議等で協議し、各市町がどういった方向性で考えているのか報告する必要がある、地域公共交通会議での合意形成は必須となる。次回以降の協議会の中で、筑前町としての路線廃止についての方向性を協議し、報告していただきたい。
- (会 長) 山家道のバス停は完全になくなるということか。
- (池田委員) 山家道には、40・41 番のバス停と上西山線で使用しているバス停の 2 つが設置されている。路線廃止に伴い上西山線のバス停については撤去となる。
- (事務局) 路線廃止に伴い、付近の利用者への影響度を把握する必要があると思っている。筑前町の住民がどのくらい利用しているか西鉄バスで把握しているか。
- (池田委員) 利用者が筑前町の住民かは識別できないが、山家道のバス停で降車する方が平日で 10~15 名、乗車する方が 8 名ほどであり、土日は合計で乗降が 10 名弱である。1 日 22 便運行しているため、1 便あたり数名いるかいないかとなる。
- (会 長) 山家道から乗車する利用者の行先方向について教えていただきたい。
- (池田委員) 行先は概ね筑紫駅となっている。
- (会 長) 次回以降の会議で、筑前町としての結論を出す必要があるため、その際は引き続きご意見をいただきたい。

(3) その他

- (事務局) 来年度 4 月以降に令和 7 年度の委員選出を依頼する予定である。なお、来年度 6 月に第 1 回の会議を予定している。

以上